



# 富岡製糸場総合研究センターだより

No. 37

(2024年3月発行)

富岡製糸場をもっと楽しむための豆知識をお届けします！

## 昇降機こんじゃくの今昔

にしおきまゆじょ  
西置繭所には、現在2つの昇降機があります。入口すぐ正面にある簡易リフトと、その斜め向かいにあるエレベーターです。

簡易リフトは1971(昭和46)年に設置され、繭運搬用として使われましたが、現在は動かすことはできません。近くの柱には朱書きで「人は絶対に乗るな」の文字があり、作業時の様子を伺い知ることができます。

一方、エレベーターは2020(令和2)年5月に完了した保存修理・整備活用工事で新設されました。工事前、2階へ行くルートは、リフト横にある幅の狭い急な階段か、外部にある手すりのない階段しかありませんでした。見学施設として活用するためには新たなルートの整備が必要となり、1943(昭和18)年設置の旧リフト跡を利用したエレベーター設置が検討されました。

旧リフトは1階天井と2階床の当初材を解体し開口部を設けましたが、撤去時に再び床が張られました。そのため、この開口部跡を利用してエレベーターを設置することで建物への影響範囲を最小限に抑えられました。またエレベーターのくたい躯体である鉄骨は建物の耐震補強にもなっています。

こうして新設されたエレベーターは、今日も西置繭所を訪れる見学者を乗せて動いています。

◆ 発行 ◆

富岡市世界遺産観光部 富岡製糸場総合研究センター

バックナンバー  
はこちらから▼

